

「海洋情報技術」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	水産食品類型 第2学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<p>社会における情報化の進展と情報の意義や役割を理解させるとともに、コンピュータの取扱いや保守に関する知識と技術を習得させ、水産や海洋の各分野で情報システム技術を活用する能力と態度を育てる。</p> <p>また、表計算ソフト・文書作成ソフトやデータベースソフトを利用して、管理・分析・活用し、ビジネスに対する情報活用能力に対する知識と技術を習得させる。</p>
使用教科書・副教材等	海文堂 海洋情報技術 ・ 問題集

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学 期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科・総合的な学習の時間・特別活動等との関連など)	考 査 範 囲
第 1 学 期	表 計 算 ソ フ ト ウ ェ ア (EXCEL) ・ 集計処理	4 5	1年次の復習・確認 ・ EXCELの基本操作。 ・ 情報処理検定3級範囲の関数の反復練習。	基礎・基本の確認・定着を行う。	第1学期中間考査 第1学期期末考査
	ビジネス文書実務検定 (文書)・速度)	6 7	ビジネス文書実務検定3, 2級の取得を目指す。	ビジネス文書実務検定対策で全員がブラインドタッチができるようホームポジションを身につける。	
<p>【課題・提出物等】</p> <p>1 授業の中で使用するプリント。</p>					
<p>【第1学期の評価方法】</p> <p>1 期末の定期考査の成績, 出席状況, 提出物の内容, 発表の仕方や内容, 学習活動への参加の態度などで評価する。</p> <p>2 学期全体の評価は, 概ね, 中間と期末の定期考査の成績で60%, 出席状況や問題集などの提出物, 授業態度・学習活動への参加の態度などで40%の配分として行う。</p>					
	表 計 算 ソ フ ト ウ ェ ア (EXCEL) ・ 関数の利用 ・ グラフの種類	9	1年次の復習・確認 ・ EXCELの基本操作。 ・ 情報処理検定3級範囲の関数の反復練習。	情報処理検定 (ビジネス部門) 対応問題を解き ハードウェア・ソフトウェアの役割を確認をおこなう。	第2学期中間考査
	データベースソフトウェア ・ データベースの基礎知識	10	データベースの基礎的な作成を理解する。		

第 2 期	資格試験	11	ビジネス文書実務検定 3 級, 2 級 (文書・速度)	査 第 2 学期 期末 末 考 査
	情報処理検定	12	情報処理検定 3 級, 2 級の取得を目指す。	

第 3 学 期	【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント, 問題集			
	【第 2 学期の評価方法】 1 中間と期末の定期考査の成績, 出席状況, 提出物の内容, 発表の仕方や内容, 学習活動への参加の態度などで評価する。 2 学期全体の評価は, 概ね, 中間と期末の定期考査の成績で 60%, 出席状況やレポートなどの提出物, 授業態度・学習活動への参加の態度などで 40% の配分として行う。			

第 3 学 期	資格試験	1	情報処理検定 3 級, 2 級	資格試験に積極的に挑戦してください。	第 3 学期 末 考 査
	パワーポイントの応用	2	1 年次に基本的な使い方を理解したが, 2 年次ではアニメーションやペイントを用いて, 幼稚園生・小学生低学年向けの紙芝居または絵本を作成できるようにする。 また発表を通してプレゼンテーションの仕方についても理解する。		
		3			

【課題・提出物等】 1 授業の中で使用するプリント, 問題集					
-----------------------------------	--	--	--	--	--

【第 3 学期の評価方法】 1 学年末考査の成績, 出席状況, 提出物の内容, 発表の仕方や内容, 学習活動への参加の態度などで評価する。 2 学期全体の評価は, 概ね, 学年末考査の成績で 60%, 出席状況やレポートやノートなどの提出物, 授業態度・学習活動への参加の態度などで 40% の配分として行う。					
---	--	--	--	--	--

【年間の学習状況の評価方法】 「関心・意欲・態度」, 「思考・判断・表現」, 「資料活用の技能」, および「知識・理解」の 4 つの観点から評価した 1 学期の成績, 2 学期の成績および 3 学期の成績を総合し, 年間の学習成績とする。					
--	--	--	--	--	--

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> 現代は情報化社会である。日ごろからさまざまな情報機器に興味・関心を持ち, 積極的に活用し, 処理することが技能の向上に繋がります。そのためにも, 情報機器に関する知識を深め, 自ら進んで考えいくことが必要不可欠です。 授業内で提出物が未提出の場合や, 授業での遅れが生じている生徒に関しては, 放課後指導を行い確実に身に付けてもらいます。 1 年次の学習より, 応用発展的な学習を行います。また, 情報処理検定を取得できるレベルまで引き上げ, 社会における必要不可欠な情報処理能力を実践できる技能を身に付けることができます。
---------------------	--

授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> 前回までの授業での疑問点や覚えておくべき重要事項についての確認・チェック, 特に専門用語には馴れておく必要がある。 授業は基本的には情報処理室で行います。チャイムと同時に始めるので, 教材・教具の準備をし, 着席して静かに待つこと。また, 情報機器は大切に扱うこと。 欠席した場合は, 欠席により欠如した部分のノートを級友から借りて写しておくこと。 疑問点はそのままにしておかず, 積極的に質問するよう努める。そのためにも質問の前に自分なりに資料等を探して研究しておくことが大切である。
---------------------	--

(2) 評価の観点、内容及び評価方法

評価の観点及び内容	評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">・海洋情報技術について関心を持ち、その知識・技術の習得に意欲的に取り組むとともに、情報技術を合理的に活用する創造的、実践的な態度を身に付けようとしているか。
思考・判断 表現	<ul style="list-style-type: none">・海洋情報技術について自ら思考を深め、その問題の解決に向け、適切に判断し、個性豊かに創意工夫する能力を身に付け、それらを的確に表現し、情報技術を合理的に利用することができるか。
資料活用 の 技能	<ul style="list-style-type: none">・海洋情報技術に関する技術の習得や調査・研究などの実践活動を行うことができるか。
知識・理解	<ul style="list-style-type: none">・海洋情報に関する知識を身に付け、情報技術の意義を理解しているか。

3 担当者からのメッセージ

・1年間の学習の中で、海洋情報技術の基本的な仕組みに関する知識、基礎的な処理方法などが分かるようになり、海洋情報を合理的に処理することが理解できる。
・教科書・プリントを中心に授業を進めていき、その中で問題演習を多く織り交ぜていく。問題演習では確実な情報処理方法について技術を習得させ、実践的なシュミレーションを織り交ぜ確実に情報活用能力を身に付けてもらいます。
・情報処理検定の受検レベルまで授業を行います。情報処理の幅が広がるだけでなく、資格取得を目標として授業に積極的に参加してもらえれば幸いです。